

## 天井クレーントロリー線に接触したことによる感電死亡事故

### 1. 事故発生事業場の概要

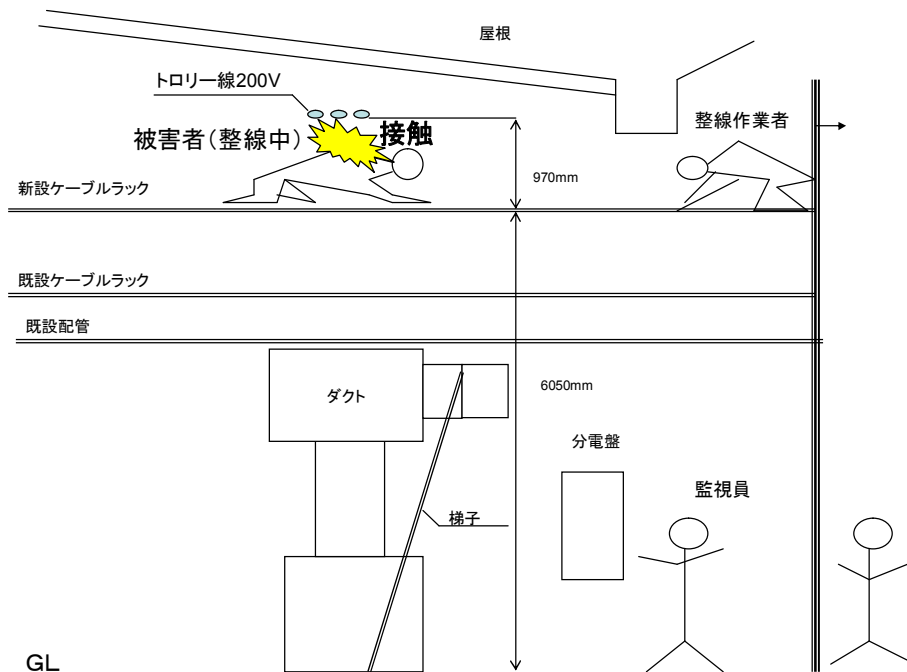
受電電圧 77 kV、受電電力 12,500 kW、主任技術者選任形態 選任

### 2. 事故の概要

高圧ケーブル及び弱電ケーブルの布設作業を実施中であった。

新設ラックの上部約1mの辺りに200Vトロリー線があったが、ラック上、充電部分の下を通り抜けて作業を行い、またブレーカを落とさずに作業を開始した。

作業中に誤って背中がトロリー線に接触し感電死亡した。



### 3. 事故の再発防止対策

この事故の教訓として、次のような安全対策が望まれる。

- ・ 事前調査を行い、作業手順を明確にし徹底した作業を行うことが必要。
- ・ 作業の進捗に伴い、作業環境が変更された場合には、その都度、作業ミーティングを行い、危険箇所及び危険作業の内容を検討することが必要。
- ・ 危険予知及び危険回避を確実に実施するため、日頃から危険に対する認識を高めておくことが必要。
- ・ 監視員には、可能な限り、的確な指示を行うことができる者を配置し、作業員へ危険注意を促すことが必要。
- ・ 停電作業を原則とし、やむを得ず活線状態での作業が必要となった場合には充電部

への防護処置を確実に実施することが必要。

事故を未然に防止するにあたって、作業者の危険に対する認識を高めることが必要であることは当然であるが、危険を回避しうる作業環境を整えることも、また不可欠である。